

山陰門推協会報

第9号

ともしび

—— 発行 ——

浄土真宗本願寺派・山陰教区
門徒推進員連絡協議会
代表者 松浦 靖

—— 事務局住所 ——

〒690-0002 松江市大正町443-1
本願寺山陰会館内



内 容	
2頁～5頁……	寄稿、新門信徒推進員
6頁～7頁……	紹介
8頁……	新会員の声 同朋の広場

この度、皆様の推薦を受け、副会長に就かせて頂くことになりました。もとより、その器ではありませんが、私に出来ることを一生懸命させて頂きます。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

浄土真宗のみ教えを、自らの人生の依り処として、他の人々の悩みや、苦しみに共感し、一日一日の生活を大切に送ることを心にかけたと思います。

今、社会は、政治の腐敗、青少年犯罪が毎日のように報道されています。このような時代であればこそ、浄土真宗の教えが求められ、また、広まらねばならないと思うのです。

さて、今年、父の十七年と先祖の年回を勤めるといふご縁にあいましたが、私はこれまで

新任のごあいさつ

副会長 **田中 圓 而**
(大田組 常見寺門徒)

御法事を只単に、一年会、三年会と勤めれば良いのだと思っ
ていました。法事が始まり、聴
聞しているうちに、実に素晴ら
しいことに気付きました。御法
話は、「御法事の大切さ」「今を
どう生きるか」を中心に話され
ました。親戚の者も大変感動し
たようで、その後、喜びの便り
もくれました。私も嬉しく思っ
ました。先祖の年回を勤めるこ
とによって、今の私に続く命を
ご縁の皆様と共に味わったこ
とでした。

歎異抄第五章に、一切の有情
は、みなもて世々生々の父母兄
弟なり。とありますが、生命の
つながりの深さを、この章をい
ただく度に、あらためて感ずる
次第です。

基幹運動の動き



キッズサンガ、ビハラー、 仏壮連盟化へむけて

教区相談員

朝 枝 俊 円

昨年、平成十八年より基幹運動推進総合基本計画が一新され、

○男女共同参画をさらにすすめる、「門信徒と僧侶の課題の共有」をめざす。

○「御同朋の願いに応える教学（御同朋の教学）の構築」をめざす。
の二点が重点項目として掲げられ、さらに本年度は任期満了により教区基幹運動推進委員会の委員が改選され、新たな取り組みが始まりました。

門徒推進員連絡協議会の活動を展開する中に、特にその会の性格上、会員の構成の上から「男女共同参画」においては課題をクリヤしているといえますが、「門信徒と僧侶の課題の共有」という点においては、まだ課題を残していることが報告されます。

このような中、「全寺院子ども集いーキッズサンガ」の取り組みがスタートしました。僧侶も門信徒も、男性も女性も、すべての人が共に手を携えて「仏の子どもを育てましょう」という活動です。その活動に参加する中に、子どもたちの育成はもちろん、男女共同参画、課題の共有などの課題が克服される、活動にかかわる私たちがまたお育てにあずかるという、門信徒会運動の具現化したものといえます。

一方、「御同朋の教学の構築」という言葉は難解のようで、まだ取り組みの成果が見えたという状況ではありません。非戦平和、差別問題などに取り組みを通して、「いのちの尊さ」への学びを深めていく活動であるといえます。またそれは、生老病死にまつわる苦悩や悲しみを共有する活動でもあります。具体的活動の一つとしてはビハラー活動が挙げられますが、ここにもまた男女共同参画、課題の共有などが具現化していることは言うまでもないことです。

このような状況を踏まえてみると、門徒推進員の活動としては多岐にわたる活動がありますが、それぞれが置かれている立場において何ができるのか、何をしなければならぬのかを、問い聞き学び、そして実行してゆくことが大切だと思います。いよいよ来年度からは全国仏教壮年会連盟が発足します。仏壮活動の充実に際しましても、門徒推進の皆様のお力添えをお願いいたします。

登録番号19457

- ①西尾敏夫（にしおとしお）
- ②出雲組月光寺
- ③積極的にお寺に縁を持ちたい
- ④先輩の方々の手伝い

登録番号19458

- ①阿川龔（あがわきょう）
- ②飯石南組西正寺
- ③自分で出来る事は、積極的に行動する
- ④活動にできるだけ参加、協力する

登録番号19459

- ①齋藤和美（さいとうかずみ）
- ②三隅組龍光寺
- ③阿弥陀さまにまもられて生かされている喜びを一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています
- ④仏婦役員の一員として、法座の時お手伝いさせて頂いています
- ⑤三隅組で門推員が一人だと伺いました。どの様に活動しようか模索中です。

新しく門徒推進員になられた方々

新しく門徒推進員になられた方々を紹介します。

質問

- | | |
|--------------|----------------|
| ①氏名（ふりがな） | ④門徒推進としての現在の活動 |
| ②所属寺 | ⑤門徒推進員としての悩み |
| ③門徒推進員としての決意 | ※掲載順は登録番号順 |

登録番号19455

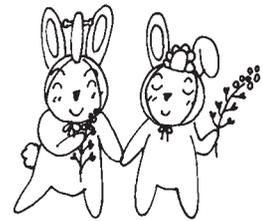
- ①江角昭夫（えすみあきお）
- ②出雲組覚専寺
- ③寺の行事活動へ多くの門徒の方に参加していただくよう働きかけたい
- ④壮年会副会長
- ⑤特にありません

登録番号19456

- ①小村忠雄（おむらただを）
- ②出雲組月光寺
- ③できる限り、法座・聴聞・寺院の行事に参加すること
- ④できる限り、法座・聴聞・寺院の行事に参加すること
- ⑤日常の雑事に追われ、行事に出席できないことがある

寄稿

共に歩もう
僧侶の声



歩み始めた伯耆組

伯耆組 組長 本巖寺

西元 一道

山陰教区二十六組の中で最も寺院教が少なく「伯耆組」である。

この度、組長という大役を受け右往左往したこの一年がほぼ経過しようとしている折に、教務所より『ともしび』の原稿依頼が飛び込んで来たので大いに困惑した次第である。

この度発行される『ともしび』のテーマは「ともに歩もう」とのこと、その趣旨に沿うことが出来るか不安ではあるが、所感を述べることにする。

組長を拝命した後、いろいろな会合に出席しての感想として、当組の従来の取り組みで不足している部分の発掘と、それへの対応をいかに組の方々へ理解して頂き、それへの取り組みへの協力をいただくことと思い、先ずは「組連研」の実施の協力を求めご理解

を得、来年度より実践すべく取り組みに余念のない今日である。

それぞれの寺院で、従来より「寺連研」はされているもの、系統的に、継続的に行われているかと言え、各寺院で格差が見られ、それならば組で実施することが出来ればそれに越したことはないとのことで、懸案の「組

連研」への一歩が始まるうとしている。活動寺院わずか八ヶ寺であるが、全寺院のご住職のご協力の下での実施を楽しみにしているところである。

これでやっと山陰教区の中の「組」として皆様と肩を並べることが出来るのが幸せである。先輩各組の皆様方のご指導をお願いしたいところである。

また、ともに歩むということから言え、ブロックの活動の活性化である。当組はブロックといっても、わずかに二組であるが、それぞれの組の都合が合致せず、足並みをそろえての研修会の実施に齟齬をきたすこともあったが、本年度実施した「門信徒会運動研修協議会」・「鳥取ブロック総代研修会」においては互いに連携を強め、多

数のご門徒や総代の方々の参加を得て盛大に会が実施出来たことは誠に喜ばしいことである。

来る「同朋運動研修会」もそれぞれの組が協力しテーマの『ともに歩もう』の趣旨が生かされるように努力していく所存である。

登録番号19463

- ①和田崇之(わだたかゆき)
- ②飯石南組真向寺
- ③聴聞に努めお寺の行事に極力参加します
- ④今は活動してませんが、地域の祖父母と孫のつどえる会を立案、計画、実施したい。

登録番号19464

- ①高木茂(たかきしげる)
- ②出雲組東林寺
- ③法座：法要にお寺にお参りいただき、聴聞して頂くため、住職さんと門徒の皆さんとのかけ橋役になります
- ④仏婦の会結成のため、とりあえず全門徒の婦人の方々に法座法要の案内をしています
- ⑤別にありません

登録番号19465

- ①吉田隆子(よしだたかこ)
- ②因幡組西法寺
- ③1年間研修で学ぶことが出来大変嬉しく思っています。学びの場を広げ、一つでも浄土真宗の教えを伝えることが出来るようになりたい。
- ④西法寺の活動は仕事の都合で無理がありますが、深相寺さまより案内を頂き研修には参加出来ています。
- ⑤西法寺での活動が思うようにいかないことです。仕事より少しでも時間を取れるよう心の配分をしたいと考えます。語り合える場所が少ないことも問題だと考えます。

登録番号19460

- ①岩谷芳春(いわたにほうしゅん)
- ②石東組立善寺
- ③聴聞を重ねる
- ④聴聞への呼びかけ
- ⑤念仏の声が出ない。聞えない。

登録番号19461

- ①須田勝治(すだかつじ)
- ②出雲組宗玄寺
- ③基幹運動を推進していきます
- ④仏社会役員として活動し出雲組連盟研修大会の準備を行います。
- ⑤悩みはありません

登録番号19462

- ①和田真一(わだしんいち)
- ②飯石南組一念寺
- ③一人でも多くの方にお参り、お聴聞頂けるよう声かけをする。
- ④家庭、地区内への声かけ。
- ⑤どうしても気負ってしまうこと。

寄稿

共に歩もう
教化団体からの声



とりの積極的な活動の輪を
広げて頂くよう切望して
おります。

ビハラー活動は一九八七
(昭和六十二年)年に宗門に
おける基幹運動推進の重要
な活動の一つとして発足さ
れ、今年で二十周年の節目
を迎えました。

ビハラー実践活動研究基
本学習会は、基本学習と実践
学習に分けてそれぞれ二年間にわたり
カリキュラムを研修学習しています。

愛山護法の同朋を家庭や施設で一
人ぼつちにさせないよう、人々の心身
の苦悩や痛みに共感し、その心に寄り
添う活動を基本学習修了者約一千名
とその活動に共感して活動して頂く
三千名以上の方々と共に各教区で活
動されています。当山陰教区でも基本
学習修了者が四十六名ありますが、他
の教区に比して活動が非常に遅れて
いる現状であります。

このたび宗門では親鸞聖人七百五
十回大遠忌法要宗門長期振興計画の
一環としてビハラー活動の充実をは
かるために京都府城陽市にビハラー
総合施設(特養その他の施設)と「あ
そか第二診療所」を建設中であり(平
成二十年開所の予定)、現代社会の課
題に應えるビハラー活動を実践し、限
りあるいのちに、お念仏を申させて頂
きながら活動の輪を広げたいと念願
しております。

門徒推進員の皆様方の一層のお力
添えを念願致します。

“老いの身が、重い荷物をまるあずけ、
みだのみ船にのせられてこそ”才市

活動の輪を広げよう

山陰教区総代会 会長

藤川 定男

今、現代は「いのちの時代」と言わ
れております。

この時代に即応すべく宗門では「親
鸞聖人七百五十回大遠忌法要」を契機
として、いろいろ施策が示されてお
りますが、なかでも門徒推進員活動の取
り組みとして横のつながりの強化、つ
まり、組・教区連絡協議会の活性化充実
と中央教修同期のネットワーク等と
共に、各教化団体の仏壯、仏婦の活性
化と次世代を担う人材育成する「キッ
ズサンガ」等に積極的な参加推進が大
遠忌法要を迎える活動として動き出
しております。

更にまた基幹運動のスローガン、「と
もに いのち かがやく世界へ」の願
いのもと、宗門が今、強気に推進し
ているビハラー実践活動の取り組みに
対して、門徒推進員の皆様お一人お

登録番号19469

- ①松田吉正 (まつだよしまさ)
- ②因幡組光輪寺
- ③お聴聞を感謝して頂いていける生活を過ごす。
- ④ご法座のご案内を門徒の皆様へお届けするお手伝い。
- ⑤門徒推進員の活動の紹介を見聞きしていく中で、私は周囲への働きかけをどの様にして行ったらいいのかが定まりません。

登録番号19470

- ①三村勝子 (みむらかつこ)
- ②因幡組光輪寺
- ③光輪寺の行事に積極的に参加したいと思います。
- ④仏婦役員として諸行事に参加しています。
- ⑤特になし

登録番号19471

- ①池原宏 (いけはらひろし)
- ②因幡組願正寺
- ③基幹運動に自覚をもって参加して行きたい。
- ④寺での法座、行事に出来るだけ参加している。
- ⑤日常の仕事等で法座、行事等に参加出来ない事。

登録番号19466

- ①永原初雄 (ながはらはつお)
- ②因幡組浄徳寺
- ③一人でも多くの人に、連研に参加してもらう
- ④第181回門徒推進員中央教修参加者との本山での再会(第1回同窓会の開催)
- ⑤門徒推進員としての活動の模索

登録番号19467

- ①田中久枝 (たなかひさえ)
- ②因幡組光輪寺
- ③寺院活動への協力、法座への参加をしてゆきたい。
- ④婦人部の理事として行事への協力、参加
- ⑤若い方の参加が少ない事。

登録番号19468

- ①永原奈津子 (ながはらなつこ)
- ②因幡組光輪寺
- ③やさしいわかりやすいことばでみ教えを伝えたい
- ④広報紙の作成
- ⑤推進員ではありませんが、一門徒でもあります。あせらずにいきたいと思います

寄稿

私の活動

定期研修会から

飯石北組 福泉坊
藤原敏幸

本山より「門徒推進員定期研修会」開催の案内を頂きました。名簿登録から五年目、十年目の推進員を対象に行うとされ、該当者六百五十三名で定員の百名に達した時点で締切るとあり、急いで申し込み参加させて頂きました。九月二十九日(土)～三十日(日)の一泊二日、参加費五千円他は宗派負担。現在までの活動の点検と見直しを行ない、成果や課題を確認して、推進員としての自覚を深めることや情報の共有を図り活動の方向性、実践について研鑽すること等が目的でした。

参加してみれば四十六名の参加でした。山陰教区からは一人でしたが、予め福井の法友と連絡しあい再会できました。

中央教修の時と同じように問題提起がなされて、分散会で話し合い、意見交換、そして全体会という流れでした。問題提起のところで、皆さんは「決意表明」でどんなことを表明

されたか覚えていますかと問われ、一瞬、会場がざわめきました。表明から五年、十年どのように過ごし、活動してこられたか分散会で話し合うことから始めましょうと。

分散会では私が一番若い(と言っても六十歳)ということで記録係をして全体会で発表。

決意表明は皆さん覚えておられ表明したことの実践や表明とは別の活動をされたり、それぞれ何らかに携わり生き生きしていました。

分散会、全体会を通じて思えることは、全国どこも同じような問題を抱えていることです。

お寺にお参りされる方が少なくなつた、若い人を誘うことはとてもむずかしいと。

私達は奉仕することを念頭に、先に動く、呼びかけをするということが大切であると確認されました。

参加者が百名に達するような方法が検討されます。また、講師評にも「よその話を聞けば参考になる」とありました。

来年度該当されますお方は是非参加されることをお勧めします。また、大遠忌法要前の平成二十一年には全国門徒推進員のつどいが開催されるようです。

私の決意表明、一人でも多くの方に中央教修への参加を呼びかけを更

に実行してゆきたいと思えます。

合掌

登録番号19475

- ①伊藤繁満(いとうしげみつ)
- ②出雲組妙壽寺
- ③宗祖親鸞聖人のみ教えに信順し「ともにいのちかがやく世界へ」の実現に向けた基幹運動の積極的な推進活動
- ④仏教壮年会の活動に積極的に参加。全員聞法、全員伝道に努める。日常生活に根ざした活動。
- ⑤特にありません。

登録番号19476

- ①福嶋栄(ふくしまさかえ)
- ②出雲組西念寺
- ③年配の門徒と若手の門徒とのクッション役として各種の催しに参加を呼びかけたい。
- ④まだ門徒推進員となって、間がないが、今後、各種の会合には積極的に参加したい。
- ⑤念仏奉仕団や連研、中央教修等、末端の門徒まで知られていないと思う。今後これらの行事について拡める事が必要ではないだろうか。

登録番号19472

- ①池原勇紀(いけはらゆうき)
- ②因幡組願正寺
- ③聴聞を通じ地域の発展に努めます。
- ④寺の行事等に出来るかぎり参加している。
- ⑤仏法と現実とのギャップ

登録番号19473

- ①鎌原ヤシエ(かまはらやしえ)
- ②浜田組正念寺
- ③仏教婦人会を通じて仲間の輪を広げます
- ④法座や研修会等に積極的に参画している
- ⑤勉強不足とお寺の役に立っていないこと

登録番号19474

- ①長田幸男(ながたゆきお)
- ②浜田組真光寺
- ③仏教壮年会の活動に参加して会員数を増やしたい。連研に若い方の参加人数を増やしたい。
- ④真光寺仏社会員として、寺のまわりの草刈、除草、法座の前の準備等のお手伝いをしている。
- ⑤浜田組門徒推進員になったばかりの私に会長を任命されました。組としてのどのような活動したらよいか分からない。

寄稿

新会員の声



ました。最終日の懇親会の中では同窓会の話が出て再度の出会いもする事になり楽しみにしています。大きな仏縁をいただき、今後組の中で聴聞に励み、各諸行事にも積極的に参加したいと思えます。いろいろな出会いに感謝し、新たな出会いもつくりたいと思います。

や孫)達に伝えたいと考えています。中央教修と一緒にいった近くの同期生の仲間達と年に二回ぐらいい語り合い、仏縁の活動をしています。「門徒推進員だから」と力んで活動しないで、出来る事から始めようという気持ちで、地域や周りの人達と地道に行動していきたいと思えます。

門徒推進研修会に参加して

松江組 真光寺 澤 洋征

であい

浜田組 真光寺 長田 幸男

父の死から七年、自ら進んで仏壇に入会しました。公報の中で組連研を知り、何も分からないまま入会しました。住職様の進行により仏法、作法とか、とても良い勉強になりました。他寺の方々との出会いもあり、課題ごとの話し合いも熱心に討議し、第一八二回中央教修に参加させていただきました。

四日間の教修では、課題法座に充分な時間をかけ、討論、発表と、時間があつという間に過ぎました。全国の方々との出会いもあり、共通的な意見もいぶんありました。御本尊さまの前で厳肅な中で、決意表明を行いスタッフの先生方の温かい拍手で迎えていただき、とても感激し

門徒推進員として

出雲組 通伝寺 日野 晴子

平成十七年九月十六日〜十九日までの三泊四日の中央教修を終えて二年余りになります。

全国から集まった初対面の仲間達と問題提起の内容について「話し合い法座」で日常的な悩みや思いを、み教えに聞き、ともに考え話し合いました。決意表明式では暗くて厳肅な緊張感の中、阿弥陀さまの御前で誓った事など懐かしく思い出されま

講師の皆さんや班の皆さん達にたくさん感動をいただいた事に感謝しております。 浄土真宗はお聴聞にきわまるといわれます。 私自身が積極的にお聴聞させていただき学びを深め、そして家族(子

蟬姑春秋をしらべ

松江組 真光寺 池 淵 美喜子

中央教修を終えて二年近くになりました。まよめの法話で聖典の中より味わせていただいた「蟬姑春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや」。この教えに深く感銘を受け、また決意表明で「自覚して聴聞を重ねます」と誓った事を真に毎月の燈映会法座に合わせていただいております。十月の法座では雅楽の演奏もあり、法話の中で再び「蟬姑春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや」の教えをいただき、本山での教修の日々が蘇ったところです。

負になった時はより一層、阿弥陀さま、南無阿弥陀仏と申し、お慈悲を思わせてもらい、七百五十回大遠忌法要に皆様とご一緒にお参りできたらと念じ、聴聞を重ねたいと思

ます。一歩踏み出し皆様と何かできることがあればとは思いますが……ご指導下さいませ。

門徒推進員研修会に参加して

松江組 真光寺 澤 洋征

今年の第四連区門徒推進員研修協議会は六月三十日(土)から二日間福山市で開催されました。山陰教区から三十二名、うち松江組から松浦教区代表と真光寺の名免良さんと私の三人が参加する機会を得ました。

日が経ち記憶は怪しいものですが、中央相談員の季平博昭講師のご法話では、生きておれば苦しみ、悩み、悲しみは必ずある。そのとき「つらかったね、悲しかったね」とともに悩み悲しんでくれる阿弥陀さまがいらつしやること、広島弁で「すまんのう、ありがたいのう、もつたないのう」のことが大切というお話などが思い出されます。

また、話し合い法座の私の班では「団塊世代の人たちをどうしてお寺に集めるか?」ということについて話し合いました。その中でこの世代の人たちは、歌声喫茶世代で、フォーク、ペンチャーズ、ビートルズ、カントリー、フォルクローレ……など得意な

人が多い。しかるにこういう特性をうまく利用するようにしたらいい、という話がありました。私もその世代の人間でギターをつま弾いたりしますが、お寺ではまだまだ「若造」です。諸先輩方のご指導を得ながら、ぼちぼちやっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

話題が共有出来る喜び

松江組 明宗寺

秀 浦 芙美子

毎年報恩講を迎える頃になると、五年前中央教修受講を勧められ、不安と期待の中、全国より参加された方々と「日本人の宗教」「差別問題」「お浄土とは」等々、各法座で本音で話し合い、充実した三泊四日でした。そして厳かに阿弥陀さまの御前で緊張し決意表明。私は聴聞に励む旨を述べました。退出時、教修中にご指導いただいた諸先生方より「おめでとう。」の声にホッと目頭が熱くなり、決意表明の重さを感じました。先日、小中学校の同窓会に出席し、子供の頃のなつかしくて楽しい時間を過ごしました。この年令になると亡くなられた方、私の様に家族を亡くした者も数名あり、会話の中でお

念仏、お寺での活動のこと、すませたばかりの報恩講の話。石見は浄土真宗が多く共通の話をすることが出来ました。次回も一日一日を大切に聴聞、念仏生活に励み元気で出席すること、そして宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌法要にお参りすることを約束して帰りました。

中央教修の時の友人、子供の頃の友達と、共通の話題で、会に出席できる幸せを感じ、門徒推進員として自覚したいと思います。

門徒推進員になって思うこと

神門組 乗光寺

川 上 好 之

連研、中央教修で学んだことは、迷っている私達を、浄土真宗の教えが、真の道へ導いて下さること、本質のない因習や偏見にとらわれないことだと思いました。

私は長年、科学分野にたずさわっていた者で、あまり因習や偏見に拘わらないのですが、都会から郷里に帰って住んでみると、意味のない風習が多いのに驚いています。

浄土真宗の教えには合理的なことが多く感銘しています。仏教の教えが、後に科学的に証明されたことも多く、特に「無常」ということが、

二十世紀の物理学で証明されて、大切な法則となつていきます。浄土真宗に導かれて、日常がいかにかまちなしたのか、常日頃感じていきます。

晩節を汚すこと勿れ

温泉津組 瑞泉寺

安 田 千代延

「人生七十古来稀」(杜甫)

去る八月六日、遂に迎えてしまつた。省りみると幾星霜の何と早いことか、悲しい哀しい事も多かった。嬉しいこともあったナ。氣付いてみると凡夫の凡夫の生き様だった。

私ごとで恐縮だが誕生日は生涯全国的に「黙禱」だ。ちなみに亡父は元旦生れ。全世界は「おめでとう」だった。私の生まれた日が人類初の原爆の日になろうとは！我が国では戦中戦後、多くの方々の礎に支えられ、今日あるを忘れてはなるまい。その意味からすれば私の誕生日もまんざらではないか。お蔭様で、まあまあ元気な方で、後十年位は生かさせてもらえたらナ。余生は自給自足の小百姓と趣味と老人会の青年部？で頑張ろうと思う今日この頃。標題を噛み締め乍ら……。

亡き父母に逢える墓道石路の花
生かされて今日も暮れ行く古稀の秋

「恩徳讃」に導かれて

邑智西組 願入寺

森 田 勝

父は晩年、先立たれた有縁の方々の法要記念として恩徳讃の掛け軸を京都より取り寄せ、私共に課題として残してくれました。聖人直筆の写しで、厳しい筆致です。

これを折々床の間に掛けて眺めていましたが、「如来大悲の恩徳」が判然としません。

「仏は常にいませども、うつつならぬぞあわれなる……」
の平安の昔のままです。

「観自在こそ導けれ、まなこ開けて今日みれば、この世の常の姿して我が身離れず副い給う」

これは高村光太郎の言葉だそうです。私共は常日頃呼吸していることも忘れていますが、この呼吸ひとつ取ってみても、如来大悲が昼夜わかつたず働いて下さっているのですよ。有り難いことでしょうと、ある法座のご講師より教えて頂いたとき、アッ、このことだったのかと目の前の霧が晴れました。報謝のお念仏あるのみです。



身近なところから

飯石南 一念寺

柳原陽二

平成十九年二月に中央教修を受講し、ようやく「家」が門徒から「私」が門徒になれたような気がします。気分がよいし、中央教修のことは忘れて下さいとお話もありましたが、どうしても肩に力が入ってしまいます。どうしても「こうしなければ」とか「こうするべき」などと外見に執わられてしまう自分が、否応なしに見えてきました。顔を合わせる方々に笑顔で声がけができていくのか、優しい気持ちで接しているのか等々、次々と疑問符が湧き上がる日々を送っています。

そんな中で心の中に一筋の風が吹くような出来事がありました。中央教修を受講する少し前から、就寝前

に家族でお仏壇にお参りし、生活信条を申しあげることが習慣になっていくのですが、十歳になる息子がいる時、「お父さんは明日何時頃に帰る？」と言いました。なかなか定時に帰らない私は、「お仕事が終われば帰るよ。なんでそんな事を聞くの」と言うと、「だって早く帰れば一緒にナンマンダブができるもん」身近なところの、小さなことが最も大事なのだと気づかされました。

因幡組門徒推進員の活動

因幡組 光輪寺

三村善信

因幡組においては、昭和五十七年に第一期組連研受講者約三十名で始まりましたが、中央教修の希望者が

なく、その後休眠状態となっております。

第二期が平成十四年に再開され八十二名の受講者の内、中央教修第一六五回修了者の九名が漸くにして門徒推進員となり、協議会を平成十七年七月二日に結成しました。

引き続き、第三期、中央教修第一八一回修了者八名が加わり、現在十七名が自責のもと研鑽に励んでいるところであります。

何分、私達が初代のため、組活動として何ができるのか暗中模索の状態であり、既存協議会のご指導、ご教示を切に望むものの、当面、推進員相互の親睦を図り、組連研への協力を努めております。

組としても、第四期が既に始まっております、今後益々推進員が増えていくものと思料されます。

山陰教区門徒推進員連絡協議会 役員名簿

役職	氏名	組名	所属寺院
会長	松浦 靖	松江	明宗寺
副会長	田中 圓而	大田	常見寺
会計	上田 克夫	神門	長泉寺
理事	今岡 力	出雲	源光寺
理事	坂本 光弘	出雲	妙壽寺
理事	安部 賀就	神門	乗光寺
理事	柳原 陽二	飯石南	一念寺
理事	安食 英夫	飯石北	常信寺
理事	長野 矩広	温泉津	西楽寺
理事	森田 勝	邑智西	願入寺
理事	長田 幸男	浜田	真光寺
理事	三村 善信	因幡	光輪寺
監事	名免良廣秋	松江	眞光寺
監事	景山 三郎	飯石南	一念寺
参与	日野 実	出雲	源光寺
参与	遠藤 英逸	神門	善福寺

編集後記

会報「ともしび」第九号をお届けします。多数の方からの寄稿まことに有難うございました。

「ともしび」は我々門徒推進員の取り組んだ活動報告であり、門徒推進員各位への啓発でもあると思うことでございます。

門徒推進員にとって、この会報を読んで頂くことで、皆様が本山で研修されたことを思い出していただければ、幸いであると念ずるところです。

門徒推進員活動のひとつとして、仲間づくりがあります。山陰教区で多くの門徒推進員の育成をしておられる寺院もありますが、一人もおられない寺院の方が圧倒的に多い現状です。これから皆様の一緒に、全寺院に最低一人の門徒推進員を育成していく方法を模索していきたいと思います。

そのためにも「ともしび」の継続と進展が望まれることと致し。皆様のご協力をお願い致します。

松浦 靖